



現在の風景

毛呂本郷交差点付近の商店街
昭和40年代ごろ（新井達夫さん提供）

毛呂本郷交差点東側の県道から写した商店街の写真です。昭和40年ごろの写真には、道路を横断するように飾りつけが施され、活気が感じられます。現在は多くのお店が建替えられ、看板の装飾など、かなり様変わりしました。

募集中

昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。ご提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295)2112 内線 332までご連絡ください。

徒然歳時記

ふくじゅそう
福寿草

春を告げる花の代表である福寿草。そのためか元日草や朔日草の別名をもっています。江戸時代より多数の園芸品種も作られて、緋色や緑色の花をつける品種もあります。正月にはヤブコウジなどと寄せ植えにした植木鉢が販売されています。ただ、一時、環境省レッドリストで絶滅危惧II類にランクされたことがあるため、希少な植物といえます。また、根には強心作用、利尿作用があり民間薬として使われることがあります。しかし、毒性が強くアドニンという成分が含まれていて、安易に食すと危険です。地面から芽を出したばかりのころは、フキノトウと似ているため、間違えて食べ、中毒を起こすこともあるそうです。



また、福寿草は南天の実とセットで『難を転じて福となす』という縁起物の飾り付けがされることがあります。名前も、めでたい「福寿（幸福と長寿）」の草の意があり、旧暦の正月（2月）ごろに咲き出すことから、新年を祝う花として、おめでたい名前がつけられたものと思われます。しかし、寒さに耐えて、氷を突き破り咲くその姿は、韓国ドラマのタイトルになるなど、愛憎劇に引用されています。でも、最後は幸せを招いてくれるものとなってほしいものです。難儀なことに直面しても、臆することなく事にあたれば、必ず道は開けると信じたいものです。

編集後記 小山吾郎さんから、忘れられないふるさとの料理として「ひぼかわ」をあげてくれましたが、『ひも』ではなく『ひぼ』と教えてくれたことに、同郷なのだ改めて実感しました。(B)

わがやのアイドル



くらち ゆうな
倉地 結菜ちゃん
(3歳)

いつも元気で、笑顔を見せて、日々成長していく姿は、微笑ましく思います。

これから、たくさんの経験をして、すくすく、のびのびと過ごしていきましょう！



ほそごえ ゆうせい
細越 悠聖くん
(1歳4か月)

いつも、あなたの笑顔がみんなを幸せにしています。これ

からも笑っていてね。楽しい毎日を過ごしましょうね。

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。

申・問 役場秘書広報課 ☎(295)2112 内線 332

人口 35,793人(-41人)
【男17,847人(-13人) 女17,946人(-28人)】
世帯 15,610戸(-12戸)
※平成25年2月1日現在(カッコ)内は前月比

□広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。



環境に優しい再生紙と植物油インキを使用しています。